

北海道上富良野高等学校  
CLASSプロジェクト  
3年間のまとめ

令和6年2月27日  
第3回コンソーシアム会議

# 上富良野高校について

- 1学年1学級 全校生徒77名
- 就職、進学(専門学校含む)は半々
- 不登校経験、発達障がいを持つ生徒も複数在籍



# 上富良野高校スクールポリシー

自律する力

つながる力

行動する力

考える力

表現する力

挑戦する力

# 上富良野高校の取組について

- 3年間の主な取組
- 地域コーディネーターの役割と成果
- CLASSプロジェクトの成果と課題



# 3年間の主な取組(流れ)

- 1年目

総合的な探究の時間での「地域からの学び」  
教育課程の見直し、学校設定教科「地域探究」

地域から  
学ぶ

教育課程の  
見直し

- 2年目

「地域探究Ⅰ」の開講 3年間見通した計画  
生徒の発表をYouTube配信でおこなう

地域探究

ICT活用

- 3年目

「地域探究Ⅰ・Ⅱ」の開講 プログラム内容の検討  
3年間を見通したプログラムの検討

プログラムの  
充実

自走できる  
プログラム



# 3年間の主な取組（生徒の活動）

- 1年生 地域を知る・探究の基礎を学ぶ  
十勝岳ジオパーク・・・地域巡検・フィールド調査  
インタビュー実習
- 2年生 地域の課題を見つけ探究活動を進める  
グループでの地域課題への探究活動  
青少年体験活動顕彰制度への応募
- 3年生 地域の課題に対する提言の発表  
町長への提言発表会  
地域探究町民発表会

フィールド  
ワーク基礎

インタビュー

地域課題を  
探究

顕彰制度へ  
応募

町長へ提言

地域への  
成果還元

# 上富良野高校の取組について

- 3年間の主な取組
- 地域コーディネーターの役割と成果
- CLASSプロジェクトの成果と課題

# 地域コーディネーターの主な業務

- 1年目  
十勝岳ジオパークとの調整  
フィールドワークの調整  
巡検内容の検討
- 2年目  
探究活動の支援や評価  
授業内での活動に対するアドバイス  
活動や成果の発表に対する評価
- 3年目  
地域との連携  
連携先の発掘（農家、商店など）  
連携先との調整、活動の周知

フィールド  
ワーク

巡検内容の検討

アドバイス

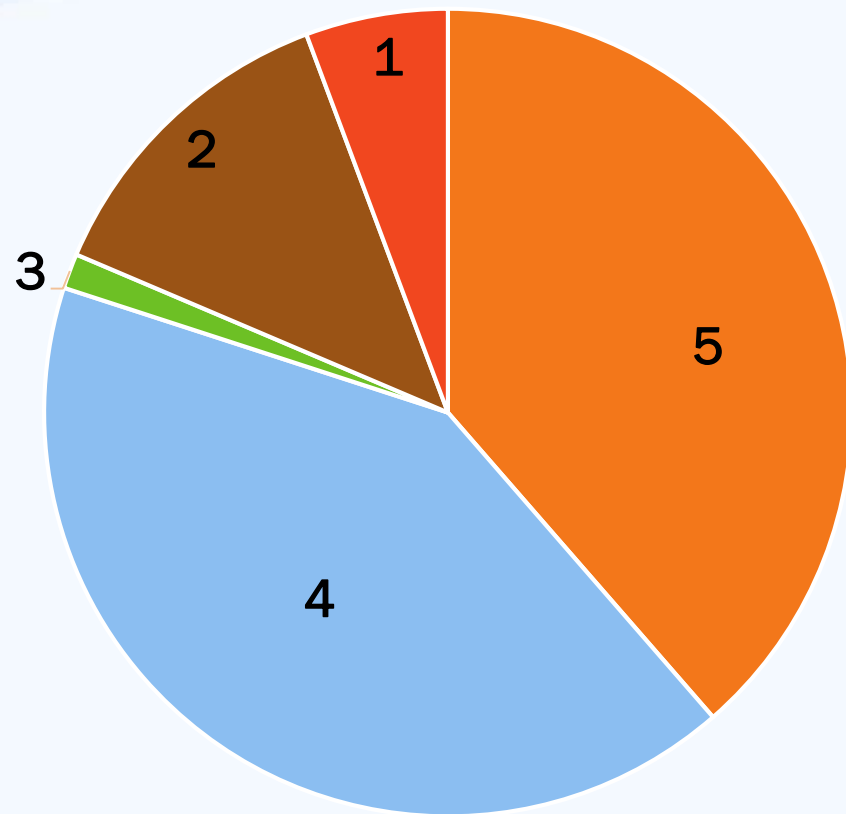
学習への評価

連携先の  
発掘

連携先との調整



# コーディネーターについて (R5前期末 1～3年)



- 5 良い印象を持っている
- 4 良くも悪くも思っていない
- 3 あまりよく思っていない
- 2 コーディネータのことはあまり知らない
- 1 わからない・答えたくない

学年による、関わりの深さに違いがある

# 上富良野高校の取組について

- 3年間の主な取組
- 地域コーディネーターの役割と成果
- CLASSプロジェクトの成果と課題

# CLASSプロジェクトの成果と課題

- 成果

生徒の変容 → 振り返りアンケートから  
地域の活性化

町長への提言が実現した

※R2に提言したトイレの整備

※カントリーサインの見直しの動き

商品化して販売会を実施（TVや新聞で報道）



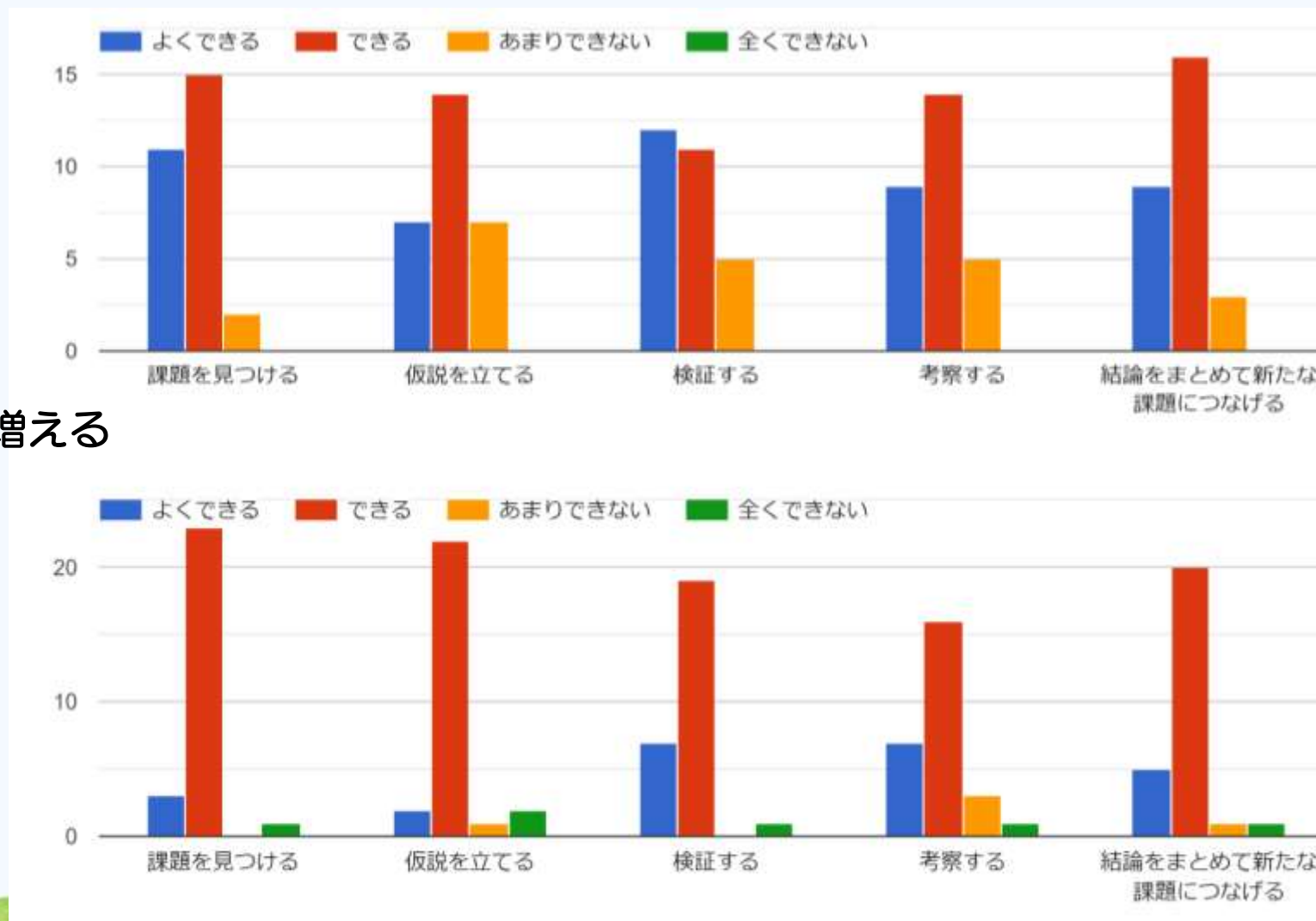
# 生徒の変化(R3 → R4 現3年生)

Q 探究活動を通してどのようなことができるようになったか？

令和4年度

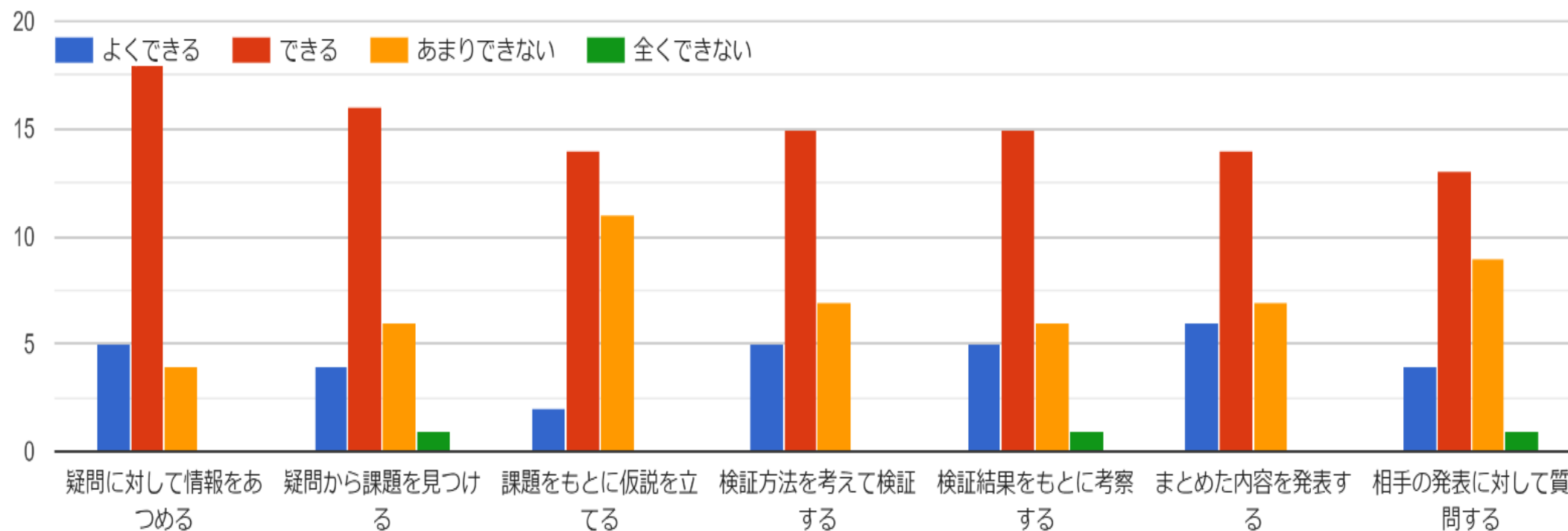
よくできるが増える

令和3年度



# R5 アンケート(1年生 2月)

4月から現在までの活動を通じて、以下の項目はどのくらいできますか。

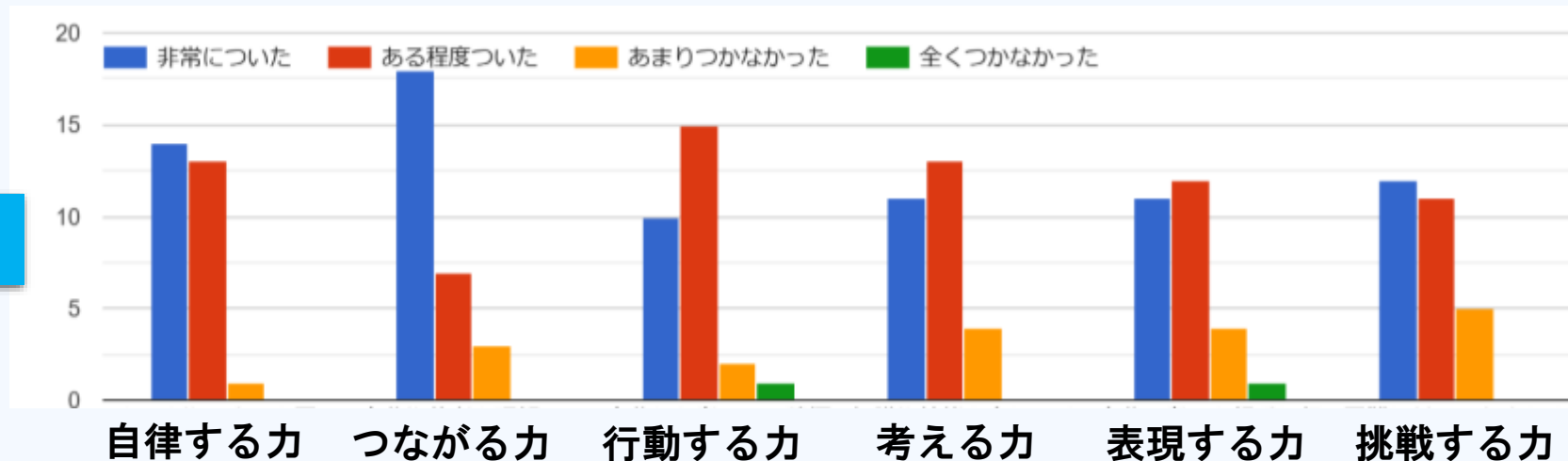




# 生徒の変化(R3 → R4 現3年生)

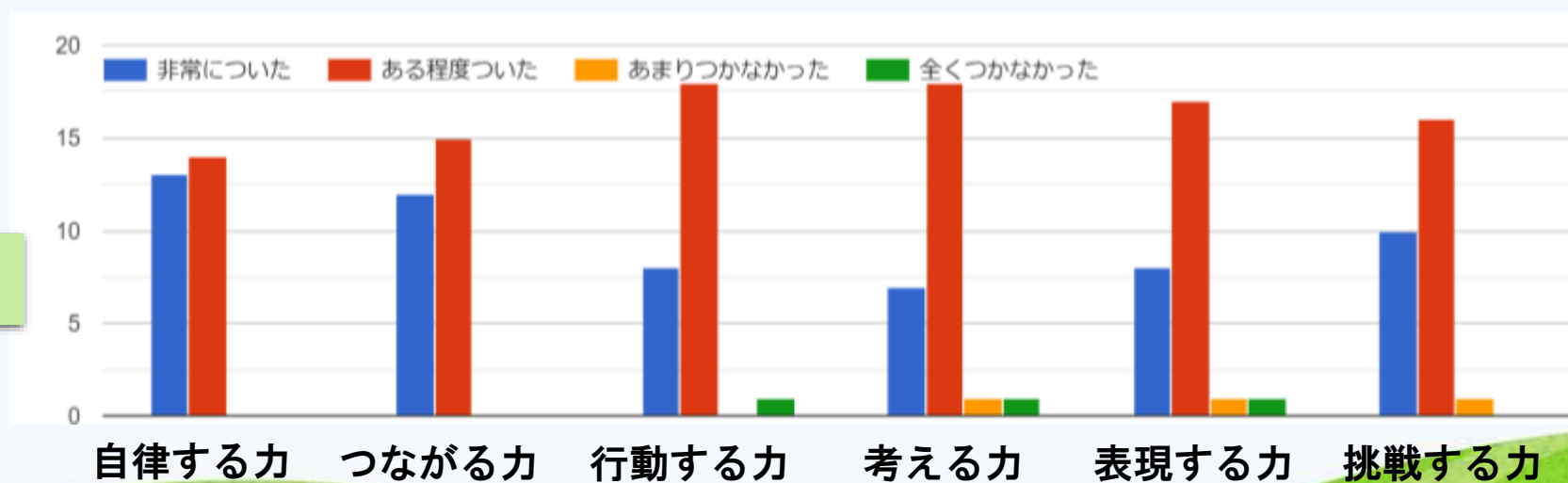
## Q スクールポリシーに対するリフレクション

令和4年度



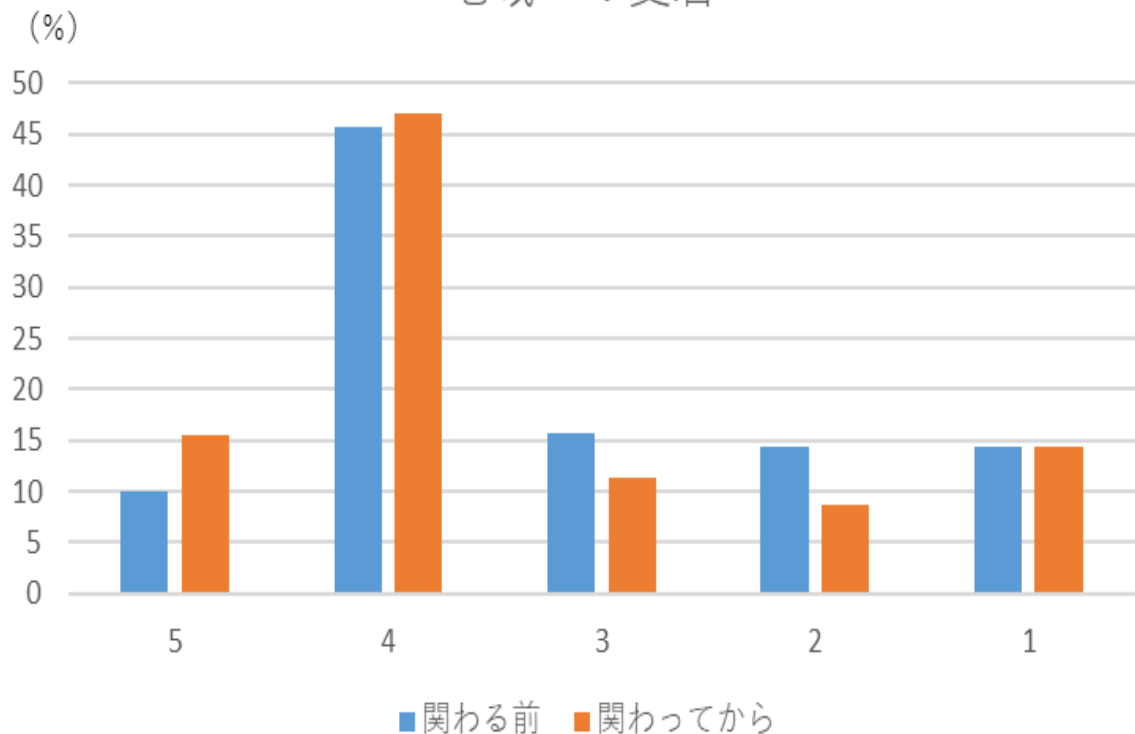
成長を感じている

令和3年度

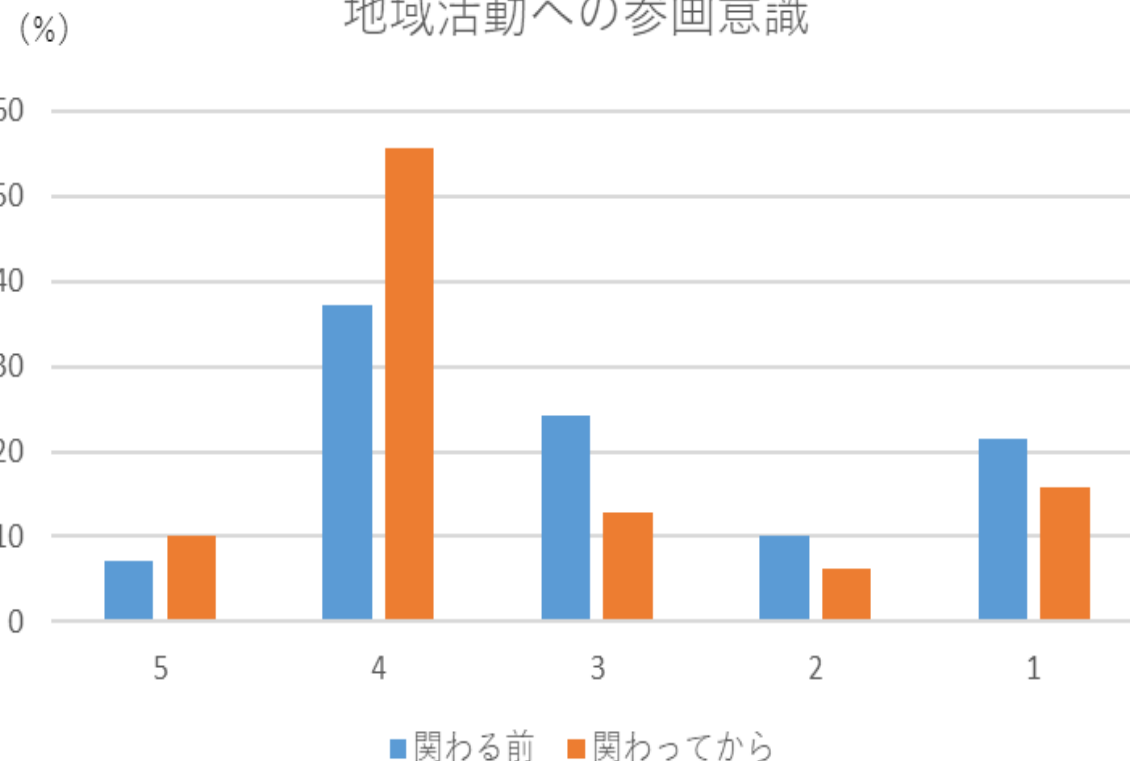


# 生徒の変化(R510月 全校アンケート)

## 地域への愛着



## 地域活動への参画意識

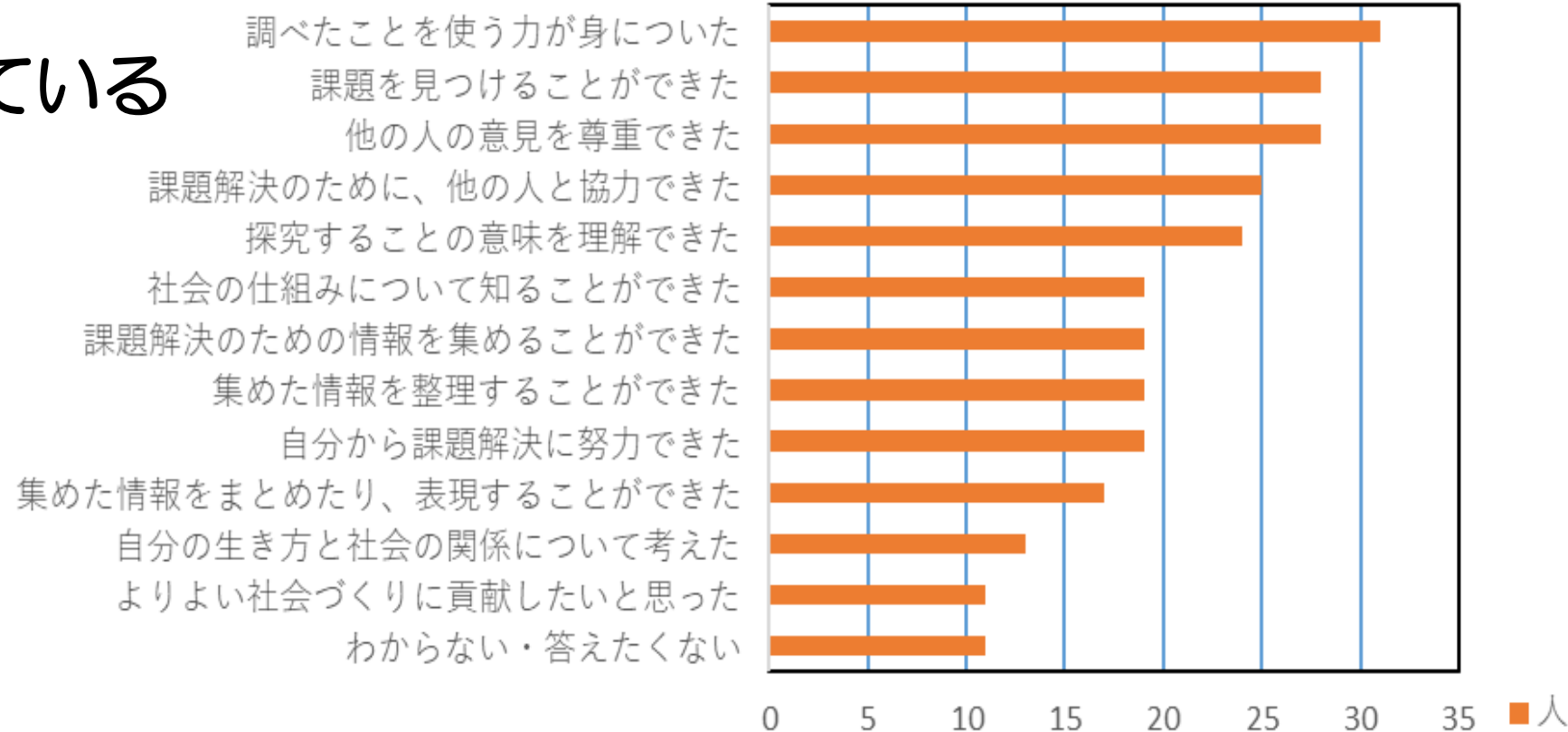


※地域への視点が形成されている

# 生徒の変化(R5 10月 全校アンケート)

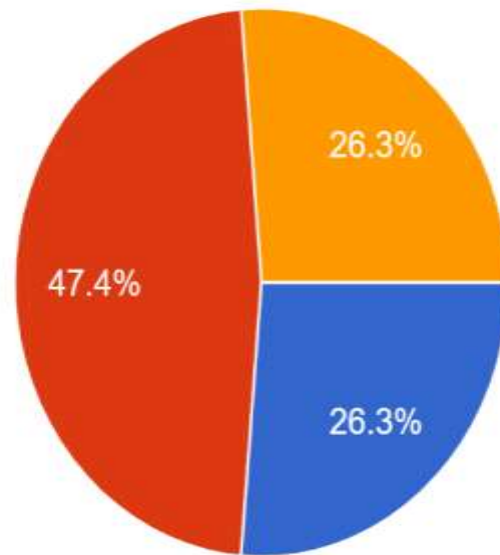
## 成長を実感している

### 成長したきっかけ



## R5 中間発表後のアンケート(2年生 12月)

4月から中間発表会までの活動について  
19件の回答

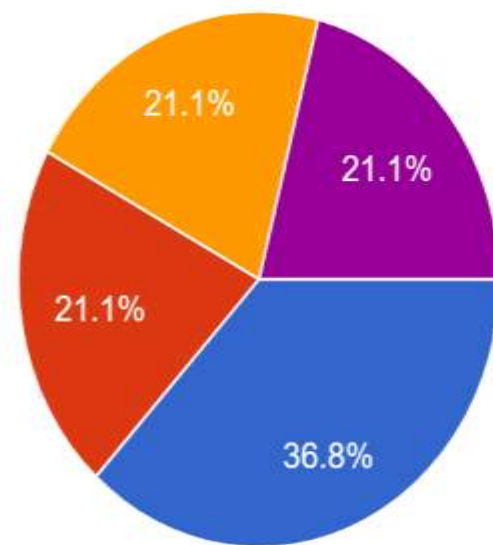


- 放課後等も利用しながら積極的に活動した
- 地域探究の授業時間内で積極的に活動した。
- あまり積極的には活動できなかった。
- 全く活動に関わらなかった。

約75%が積極的に活動した

## R5 中間発表後のアンケート(2年生 12月)

4月から中間発表会までの。自分たちの班の活動内容について  
19件の回答



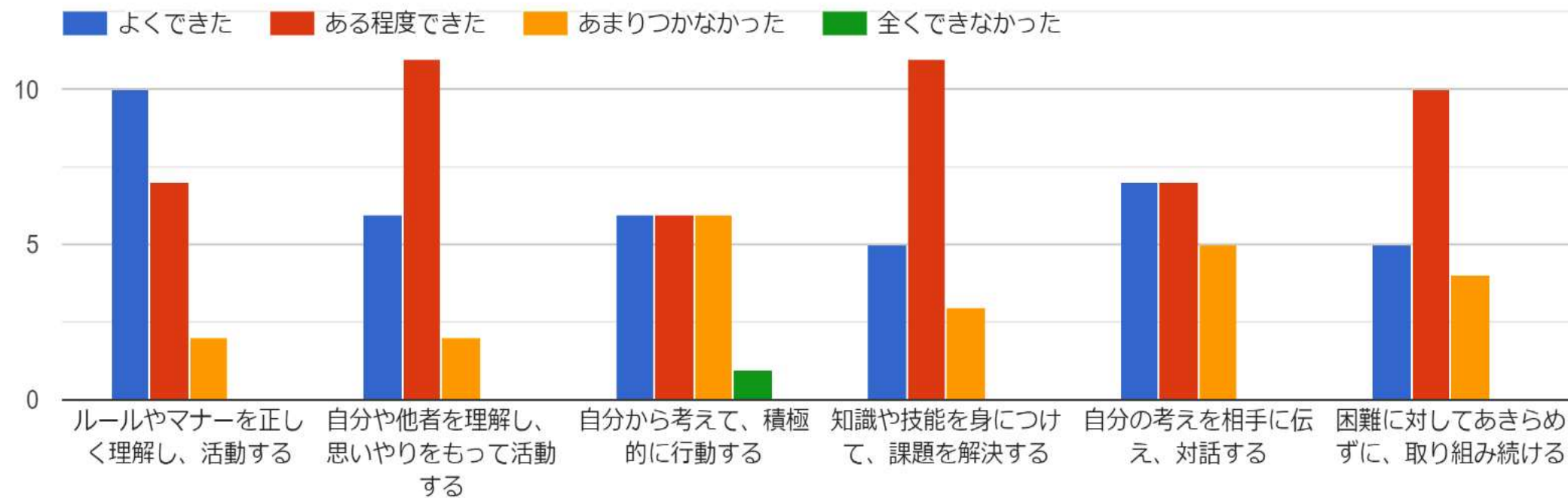
- しっかり理解できている。
- ある程度理解できている。
- あまり理解できていない。
- 全く理解できていない。
- 程度理解できている。

約80%が内容を理解して活動した



## R5 中間発表後のアンケート(2年生 12月)

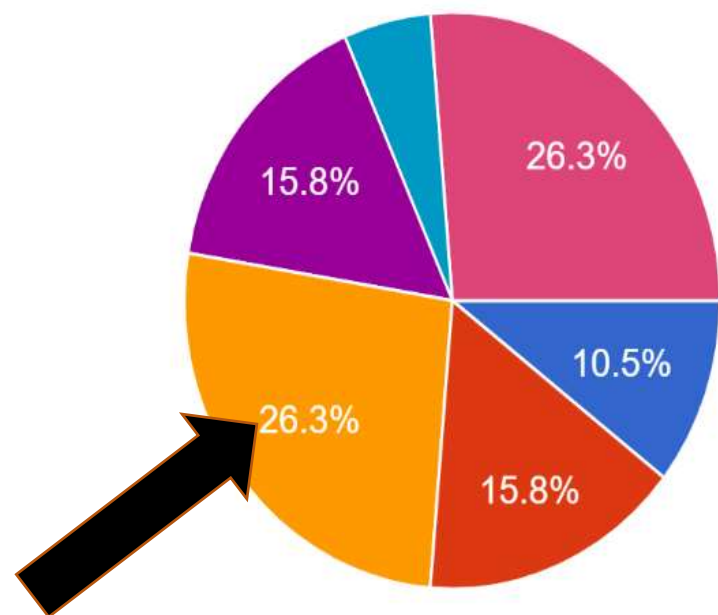
中間発表会までの活動を通して、次の項目はどのくらいできましたか。



## R5 中間発表後のアンケート(2年生 12月)

上の6つの項目のうち、特に「よくできた」「できた」と思う項目は何ですか。

19件の回答



- ルールやマナーを正しく理解し、活動する
- 自分や他者を理解し、思いやりをもって活動する
- 自分から考えて、積極的に行動する
- 知識や技能を身につけて、課題を解決する
- 自分の考えを相手に伝え、対話する
- 困難に対してあきらめずに、取り組み...
- 「できた」と思うものがなかった

自ら考えて行動できた

→

主体的な動き

リーダー的な生徒の育成

# CLASSプロジェクトの成果と課題

## 課題

- ・ 「地域探究」3年間のプログラムの完成
  - 次年度、完成年度
- ・ 地域コーディネーター
  - 今まで同様の活動のための予算
- ・ 教員が異動しても活動を継続するため、  
活動内容をマニュアル化
- ・ 活動内容の評価と改善方法の工夫

地域探究の完成

地域コーディネーター

マニュアル化

評価と改善

# 令和6年度 地域探究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのプログラムについて（予定）

- 地域探究Ⅰ 探究するための基礎を作る・学ぶ
- 宿泊研修でのフィールドワーク
  - 課題を見つけるための「1枚の写真」
  - リサーチの方法を学ぶ <教科との連携>  
(文献・Web・インタビュー・アンケート)
  - データの収集と処理 <教科との連携>  
(上富良野町内の川を調べる・統計的手法)
  - 上富良野町の課題を見つける  
(役場へのインタビューなど)
  - 生徒の課題意識に基づく探究グループの決定
  - 次年度以降の探究グループで探究内容の検討

## 令和6年度 地域探究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのプログラムについて（予定）

- 地域探究Ⅱ 探究課題に基づくグループ活動
- 先行研究の調査 <教科との連携>
  - 課題設定に基づく探究活動  
(インタビュー・アンケート・商品開発 など)
  - 中間発表会での発表 <教科との連携>
  - 顕彰制度への応募
  - 中間発表会をふまえた探究活動の深化

- 地域探究Ⅲ 成果のまとめと発表
- 探究内容のまとめ
  - 町長への提言や町民発表会での活動成果の還元



ご静聴ありがとうございました

